

長崎高教組 新 年 賀

発行
〒850-0013 長崎市中央2丁目2番5号
長崎高教組会館 長崎県高等学校教職員組合
☎ (095)-827-5882
FAX (095)-826-2976
編集責任者 平井秀治
一部 10円

高教組メールアドレス
naga-kks@fs
inet.or.jp

4月から41人目 長崎明誠高でひとり加入 あと29人で昨年現勢に

けること(対話)を本気部だけのとりくみになら
ですすめなければなりません。しかも、分会執行
せん。しかも、分会執行 事です。

「330人対話の達成に向け、支部分会動く

いま高教組に集まる条件はある

▼各支部の支部長と書記
長による代表者会(第8回
12月18日)では「3
30人対話」の実現に向
けて各支部・分会のとり
くみ状況を交流し合いま
した。その内容(要旨)
は次の通りです。

▼長崎支部▲

1月22日(土)に支
部教研を行う。賃金をテ
ーマとして、今年度の減
額の具体的内容や組合の
交渉の意義などを学習し
たい。この教研に誘って
もらうことが「対話」で
あると位置づけられている。
分会長会議に参加して
もらうよう
に工夫して
いる。対話
の具体的
実践例を示
して提起
時期ですが、高教組を知
ってもらうというこ
軸にして、気軽に「いか
がですか、一緒にやりま
せんか」と話しましょう。
加入が自然にすすむ情勢
成している
ないなかでは、語りか
る。

長崎明誠高で教員ひと
りが組合に加入されまし
た。12月上旬のこと、
職場の同僚がつながりを
もとに「一緒にやってみ
きましょう!」という誘
いなどから実現したもの
です。



▲県議会文教厚生委員会で教育条件の
拡充の必要性を説明する馬場書記長
右は紹介議員の堀江ひとみ議員(共産)

就学援助制度の創設などを求め請願 5千筆超える署名をに背を向ける県議会

「長崎の豊かな高校教
育をめざす会」(事務局
は高教組)、12月1日、
県議会請願署名5348
筆を添えて、30人学級
の実現や父母負担の軽減
などを求める請願書を、
県議会に提出しました。
文教厚生委員会は、
紹介議員の堀江ひとみ議
員(共産)から趣旨説明
を、馬場高教組書記長が

補足説明を行いました。
馬場書記長は、授業料
以外の教育費の父母負担
の全国平均は、文科省の
資料でも、授業料の倍以
上の年間約24万円に達
すること、県内の農業高
校でも、制服や実習服な
ど新生が購入しなければ
ならない物品の金額が
8〜10万円に達し、期
日までに払えない事例や
修学旅行費も6〜9万円
かかり、経済的理由で修
学旅行に行けない事例な
どをあげ、「高校生対象
の就学援助制度の創設」
などの要請項目の実現を
求めました。

山田議員(民主)から
県教委に、物品購入費が
払えない生徒や修学旅行
に行けない生徒の数を問
う質問。県教委は「確認
して後で報告する」と答
弁。

佐藤議員(自民)から
は、請願に「高校の整理
統合をこれ以上すすめな
いこと」について、「自
民党は、高校の整理統合
は必要と考えているが、
趣旨は何か」という質問。
馬場書記長は、「今年
度閉校の高校が3校。こ
れを減らすことと説明。
採決は、討論抜きで
否決されました。」

▼佐世保支部▲

手つかずの状態であつ
たが、11月下旬の分会
長会議で「残された期間
で対話のとりくみや
「ことを確認。役員段
階での、組合員を増やさ
なければ」という意識は高
い。

▼大村支部▲

支部で組合を知り、加
入に向けて考えてもらう
ために情宣チラシを作
る。案を今、討議中。1
週目情報紙を3号発
行し、加入をよびかけ、
表情で聞いてもらった。

▼島原支部▲

雲仙での支部教研を一
つの対話の材料にしてい
たが、十分ではなかった。
教研への参加は27人で
18人が宿泊。夜の懇親
会では、気をつかわず本
音で話せる場として意義
があるという声。

▼北松支部▲

支部教研で労働基本権
回復の学習をし、14人
参加。分会ではとりくみ
が行われているが、支部
がバックアップする必要
を感じている。

▼五島支部▲

ボーナスが減り、職場
でなぜ減るのか、今後ど
のように決まってくるの
かなどを話した。深刻な
表情で聞いてもらった。

▼対馬支部▲

1月末か2月初めに
支部教研を予定。まだ
組合に結集していない
人も多数出席するとい
う伝統があるので今回
もこれを追求している。

▼壱岐支部▲

支部としてのよびか
け文を準備中。今まで
も個別にあたっては
が、厳しい反応もある
中で頑張っている。

▼管理を前面にだす管

理職が来ると職場はよ
くまとまると同じで、
労働条件が厳しくなる
今、まとまる条件がで
てきている。

▼共済組合員増の動き

また、同審議会で事務局は、中央
の審議会の動向として、医療などの
短期給付事業の給付が増大している
ため、短期財源率が引上げられる見
通しという説明をしました。給料の
場合、毎月、11年度は5/1000%、12
年度も5/1000%の引上げで、さら
にボーナスからの掛金も引上げとい
いますから家計直撃は必至です。

不祥事見解レポートの校長提出問題

県教委釈明 「自分のこととして 考えてもらうことが目的」

「不祥事が多発している現状についての見解(A4の用紙1枚)をまとめて、校長に提出するようにと言われているが、どういふことか、県教委に問い質してほしい」という電話が12月に入ってから相次ぎました。そこで高教組は、県教委から実施要項を入手し、担当の総務部法務監察班と電話で折衝しました。レポートの提出について、県教委は、07年12月から毎年、4、7、12月に実施している「規律強化月間」の10回目として実施しており、不祥事問題を自分のこととして考えてもらうことが目的と説明し、提出されたレポートを県教委が点検したり、対策等に反映させる考えはないと述べました。

高教組が「『自分のこととして考える』ということであれば、11月のとりくみと同じで、屋上屋を重ねるようなものではないか」と追及すると、「重なるとは思ったのですが…」と言葉を濁しました。さらに、「現場ではレポートをどのように扱うのかも説明せずに、県からの指示なので書いてほしいと言っている例が多い」と追及すると「趣旨が

丁寧に説明されていないことが問題であるという認識を示しました。また高教組が、レポート提出そのものが「11月に研修などのとりくみをしたうえで、レポートを校長に提出する」という問題は感じない場合は、本部に連絡するということ、その場で、疑問点や問題点を指摘することが求められています。

■高教組は、人事に関わって独自の異動・留任希望調査を行い、31分会から76人分を集約しました。そのうち、重点・課題人事の項目(定期大会の決定)に従って22人を特定し、12月17日に県教委に提出するとともに交渉を行いました。その中で、他の教職員にも関わる内容がありましたので、お知らせします。■

県教委は「子育て中の職員の人事は配慮」を守れ 重点課題人事の県教委交渉

事例は、採用後2校目の学校で6年目を迎えた、育児休業から復帰したばかりの教職員が、まだ第4地区の勤務経験がないので、次の転勤は第4地区と言われているというもの。その方の配偶者が民間勤務なので、第4地区への転勤となれば別居になるというので、困惑してあり、重点課題人事としてとりあげたものです。交渉では、少子化対策として制定された「次世代育成支援対策推進法」に基づいて県教委が作成している「特定事業主行動計画」(この場合の「特定事業主」とは県教委のこと)の中で、子育て中の職員に対する配慮として「子育て中の職員に対して、状況に応じた人事上の配慮に努めます」と書いてあることを示し、

つたかを点検する形になる」と問題を追及すると、「内容をチェックする考えは毛頭ない」としたうえで、高教組の意見を上司に伝えると述べました。不祥事問題に関わっては、これからも、とりくんでいる姿勢を外部に示すことが目的であるかのような対策が提起されることを考えられ、多忙化に拍車を掛けることも。問題は感じた場合には、本部に連絡するということ、その場で、疑問点や問題点を指摘することが求められています。

長崎高教組第212回定期中央委員会
○1月29日(土) 10:30~16:30
○諫早市高城会館(諫早高校隣り)
大会までのとりくみや暫定予算などを協議を決めます。全分会から集まる機関会からは大会と中央委員会だけです。各職場から出席をよろしくお願ひします。



県春闘共闘会議総会

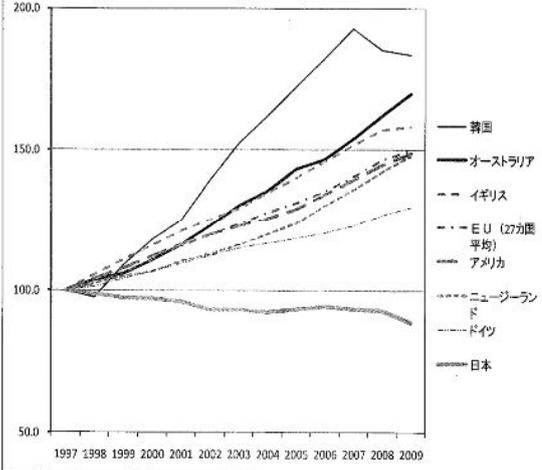
長崎県春闘共闘会議は、12月10日、2010年度の総会を開催し、9組合から16人が参加して2011春闘に向けた体制と方針を確立しました。今年度から、長崎私教連が新たに正式参加し、組織を拡大しての力強いスタートとなりました。方針案の提起では、国際的に見ると、ここ10年で賃金が下がっており、そのために国内消費が減少し、GDPの伸び率も他先進国の半分以下になっていること、給与総額が9兆円も減少した2009年に、大企業が内部留保を11兆円も拡大したこと等を明らかにし、

ヒラを増やすのが正しい道
校長や教頭が多忙と言っている、副校長を配置し、二人目の教頭をつくり、そして主幹教諭や指導教諭を導入しようとする県教委。
一方、生徒と直接触れ合う教職員の非正規化は異常なほど増えている。図書館の専任職員の配置もついに全国ワーストの

※特定事業主行動計画の内容は、県教委のPの左上の「教育委員会の概要」をクリックすると、「長崎県特定事業主行動計画」(教委委員含)についてというPDFファイルのタイトルが出ますので、それで見ることが出来ます。

ひとりも飛ばされたくない
教職員をきちんと正規で配置せよという声は、

賃下げは日本だけ! 賃金の国際比較



1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009

欧米諸国でできている賃上げがなぜできない
大企業の社会的責任を追及する春闘に
総会ではこうした方針を確認し、共同の力を前進をもちとる決意を固めました。



北風はひとりも飛ばされたいように手を携えて

飛べたい

飛べたい